



# タンブラーミキサー

ANGC-JMT40-A



## 取扱説明書 保証書つき

この度は e angle タンブラーミキサーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずご使用前にお読みください。

お読みになった後は、大切に保管していただき、取り扱いがわからない時や、不具合が生じた時にお役立てください。

- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY.

## もくじ

|                          |       |
|--------------------------|-------|
| 安全上のご注意 .....            | 1～5   |
| 各部のなまえ .....             | 6     |
| 知っておいていただきたいこと .....     | 7     |
| 安全装置(ボトル台検知装置)について ..... | 7     |
| 連続運転について .....           | 7     |
| モーター保護装置について .....       | 7     |
| 禁止材料について .....           | 8     |
| 正しい使いかた .....            | 9～11  |
| レシピ .....                | 12    |
| お手入れのしかた .....           | 12～14 |
| グリップの取り外しかた・取り付けかた ..... | 14    |
| パッキンの取り外しかた・取り付けかた ..... | 14    |
| 故障かな?と思ったら .....         | 15    |
| 仕様 .....                 | 16    |
| 消耗部品・別売品 .....           | 17    |
| アフターサービスについて .....       | 17    |
| ご相談窓口・修理窓口のご案内 .....     | 18    |
| 保証書 .....                | 19    |
| 保証・無料修理規定 .....          | 19    |

# 安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。  
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**⚠ 警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

**⚠ 注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

## 絵表示の例



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

## ⚠ 警告



●異常・故障時は直ちに使用を中止する。

〈異常・故障例〉

- ・異常なおいがしたり、煙が出る。
- ・触れるとビリビリと電気を感じる。
- ・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。
- ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。

発煙・発火・感電の恐れがあります。




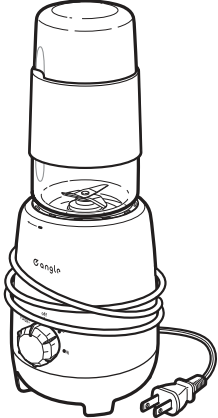
※すぐに電源プラグを抜いて、点検・修理を依頼してください。

●電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は乾いた布で拭き取る。

ショート・火災の原因となります。


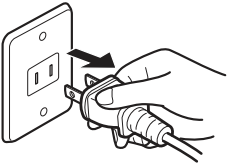

●延長コードは使用せず、定格15A以上のコンセントを単独で使用する。  
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

## ⚠ 警告

|   |  |
|---|--|
|    | <p>●電源プラグは根元まで確実に差し込む。<br/>感電・発火・発煙の恐れがあります。</p>   |
|   | <p>●使用前に、パッキンが確実に取り付けられていることを確認する。<br/>材料が漏れたり、パッキンがずれているとカッターがあたって切れ、調理物に混入する恐れがあります。</p>   |
|    | <p>●改造はしない。また修理技術者以外の人、分解したり修理をしない。<br/>火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または「家電の119番」にご相談ください。</p>   |
|  | <p>●AC100V 以外では使用しない。(日本国内専用)<br/>火災・感電の原因となります。</p>   |
|   | <p>●電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用したり、重い物を載せたり、はさみ込んだり、高温部に近づけたりしない。<br/>火災・感電の原因となります。</p>  |
|   | <p>●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。<br/>感電・ショート・発火の原因となります。</p>   |
|   | <p>●梱包材を子供の手の届く場所に置かない。<br/>口や鼻をふさいだり、口に入れるなどして窒息する恐れがあります。</p>  |
|   | <p>●電源コードを本体に巻き付けない。<br/>火災・感電の原因となります。</p> <div data-bbox="1198 1653 1417 2069">  </div> |

# 安全上のご注意

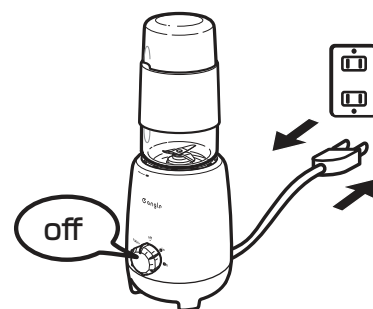
## ⚠ 警告

|   |  |
|---|--|
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●取り扱いに不慣れな方や子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管したりしない。<br/>やけど・感電・けがをする恐れがあります。</li> <li>●ボトルにスプーン・はしなど、調理材料以外を入れない。<br/>故障・破損・けがの原因となります。</li> <li>●ボトル台検知装置を細い棒などで押さない。<br/>回転部が回転し、けがをする恐れがあります。</li> <li>●火のそばに置かない。<br/>火災・感電の原因となります。</li> </ul> |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●使用時以外は必ずスイッチを「off」にし、回転がとまってから電源プラグをコンセントから抜く。<br/>けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。</li> </ul>    |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない。<br/>感電・ショート・故障の原因となります。</li> </ul>    |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。<br/>感電・けがの原因となります。</li> </ul>   |

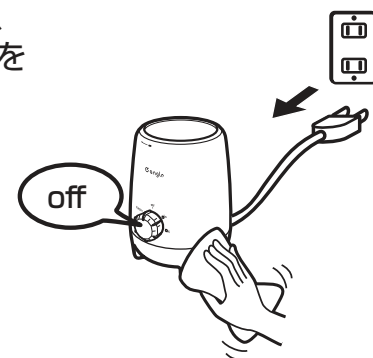
## ⚠ 注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。  
感電やショートして、発火することがあります。

- スイッチが「off」になり、回転が止まっていることを確かめてから、電源プラグを抜き差しする。  
けがの原因となります。



- 部品の取り付け・取りはずし・お手入れをするときは、スイッチを「off」にし、回転が止まってから電源プラグをコンセントから抜く。  
けがの原因となります。



- 移動させるときは、スイッチを「off」にし、ボトルを持たず、本体を両手で持ち上げる。  
故障・破損・けがの原因となります。

- 40℃以上の熱い材料は冷ましてから入れる。  
熱い材料を入れると、ふきこぼれたりボトルが割れて、やけど・けがの原因となります。

- 連続運転は4分以内にする。  
4分運転するごとにスイッチを「off」にして2分休ませる。  
モーターが過熱し、故障の原因となります。

- 必ずボトル台にボトルを取り付けて運転する。  
カッターに触れてけがをする恐れがあります。

- 禁止材料を使用しない。(P. 8 参照)  
故障・破損の原因となります。

- 材料を定格容量を超えて入れない。  
故障の原因となります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意

- 不安定な場所やテーブルの端などで使用しない。  
故障・破損・けがの原因となります。



- 材料を入れない状態での空回しはしない。  
モーターやカッター部が傷み、故障の原因となります。

- 業務用として使用しない。また、不特定多数の人が使用する場所に置かない。  
連続使用による負荷で故障の恐れがあります。

- 熱湯で洗ったり、食器洗い機を使用して洗わない。また、食器乾燥機・食器洗い乾燥機を使用して乾燥させない。  
破損・変形の原因となります。

- 次のものを使用してお手入れしない。  
・ベンジン、シンナー ・漂白剤、酸類 ・みがき粉、クレンザー ・たわし、金属たわし  
破損・変色の原因となります。

- ボトルに調理物を入れて長時間保存したり、長時間持ち歩かない。また冷蔵庫や冷凍庫で保存しない。  
変形・変色の原因となります。

- ボトルは電子レンジ・オーブン・オーブンレンジで使用しない。  
破損・変形の原因となります。

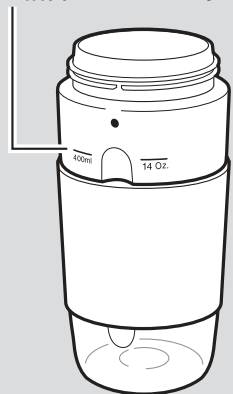
- カッターは鋭利なため、直接手を触れない。  
けがの原因となります。



# 各部のなまえ

ボトルを逆さに向けて材料を入れます。

- 400mℓ (14 Oz.)ボトル  
最大目盛  
〈定格容量 400mℓ (14 Oz.)〉



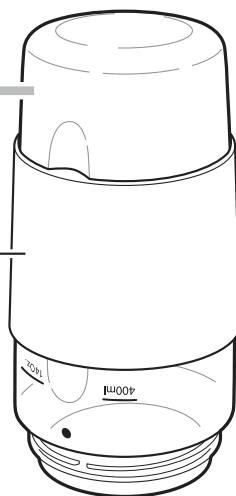
※定格容量以上の材料を入れて使用しないでください。  
材料があふれ出る恐れがあります。

ボトル

グリップ

パッキン

ボトル台

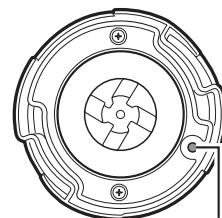


ボトルにボトル台を取り付けてから、本体に取り付けます。

(取り付けかたは、  
P. 9 ~ P.10 参照)

カッター

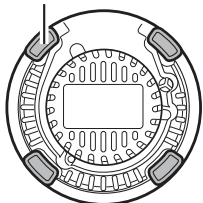
(裏側)



パッキンピン

(底面)

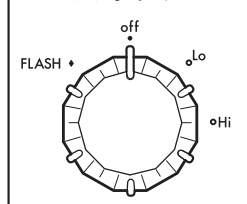
吸盤 (4箇所)



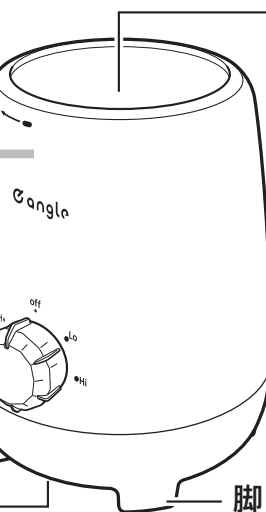
本体を安定させたり、運転時の本体への振動を軽減させるため、脚は吸盤式になっています。

※移動させるときは、本体を両手で持ち上げてください。

スイッチ



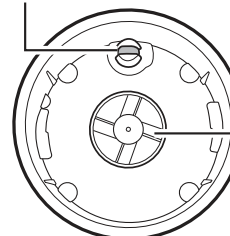
本体



脚

(内側)

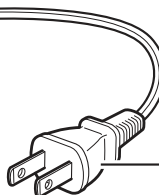
ボトル台検知装置 (P. 7 参照)



回転部

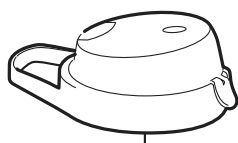
電源コード

電源プラグ



## 付属品

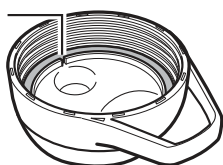
- キャップ×1個※



※完全密封ではありません  
(P.11 参照)

(裏側)

パッキン



# 知っておいていただきたいこと

## 安全装置（ボトル台検知装置）について

ご使用になる前に、ボトルに材料を入れた後、ボトル台をしっかりと取り付け、本体にセットしてください。正しくセットしないと、安全装置（ボトル台検知装置）がはたらき、運転を開始しません。

運転前に、正しく取り付けられていることを確認してください。（P. 9 ～ P.10 参照）

## 連続運転について

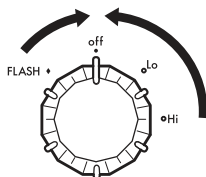
連続運転は4分以内にしてください。4分運転するごとにスイッチを「off」にして2分休ませてください。モーターが過熱し、故障の原因となります。

## モーター保護装置について

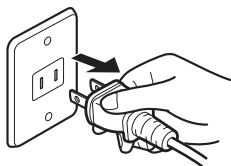
材料の入れすぎなどでモーターに負荷がかかるとモーター保護装置がはたらいて運転が止まりますが、故障ではありません。

以下のようにして直してください。

- ①スイッチを「off」にする。

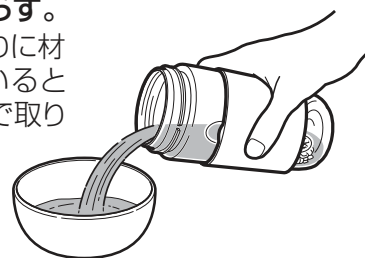


- ②電源プラグをコンセントから抜く。



- ③材料を半分に減らす。

- カッターのまわりに材料が付着しているときは、ヘラなどで取り除いてください。



- ④20 ～ 30分後、電源プラグをコンセントに差し込み、運転を開始する。

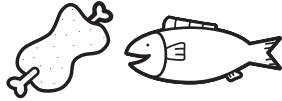
以上の処置をしても、たびたび運転が停止するときは、お買い上げの販売店、または「家電の119番」にご相談ください。



# 禁止材料について

- 下記の材料は使用しないでください。  
故障・破損の原因となります。

- 肉、魚類



- 非常にかたい物、水分の少ない物、乾物類

大豆、冷凍食品、ウコン、穀物、ドライフルーツなど  
※かたい種は取り除いてください。



- ねばり気の強い物

とろろいも、ゆでたじゃがいも、もち、ジャムなど



- 市販のロックアイス、氷だけの粉碎、氷砂糖



- 泡立て・生地作り

- 大きい食材

※材料は2～3cm角に小さく切ってください。

- 甘味付けのためにはちみつなどを使用する場合は、食材のかくはんが終わった後にはちみつを加えて、なじませるために数秒かくはんしてください。

先に入れると、カッター付近で固まり、故障の原因となります。

- 40℃以上の熱い材料は冷ましてから入れてください。

熱い材料を入れると、ふきこぼれたりボトルが割れて、やけど・けがの原因となります。

# 正しい使いかた

## 1 ボトルに材料を入れます。

- 材料は2～3cm角に小さく切り、各ボトルの定格容量（400ml）以内でご使用ください。
- 牛乳や水などの液体を適量入れてご使用ください。空回りの原因となります。
- 材料は40℃以下に冷ましてから入れてください。

### 材料を入れる順番

- ① 水分の少ないかたい材料
- ② 水分の多いやわらかい材料
- ③ 液体

- 必ず液体を入れてください。
- 必ずかたい材料から先に入れてください。  
やわらかい材料を先に入れると、かたい材料がカッターに引っかかり、運転が止まる場合があります。
- 氷を入れる場合は最初に入れてください。  
（家庭用冷蔵庫で製氷した角氷（2.5cm角以下））  
をご使用ください。



### ⚠ 注意

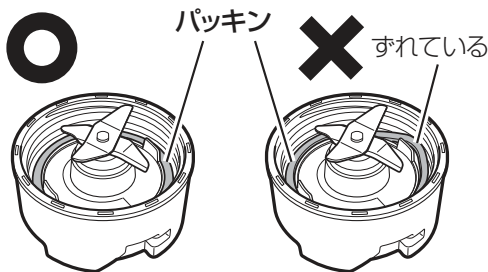
- 材料を定格容量以上入れない。  
故障の原因となります。
- 禁止材料を使用しない。（P. 8参照）  
故障・破損の原因となります。

## 2 ボトルにボトル台を取り付けます。

### ⚠ 警告

パッキンが確実に取り付けられていることを確認する。

材料が漏れたり、パッキンがずれているとカッターが当たって切れ、調理物に混入する恐れがあります。



### ⚠ 注意

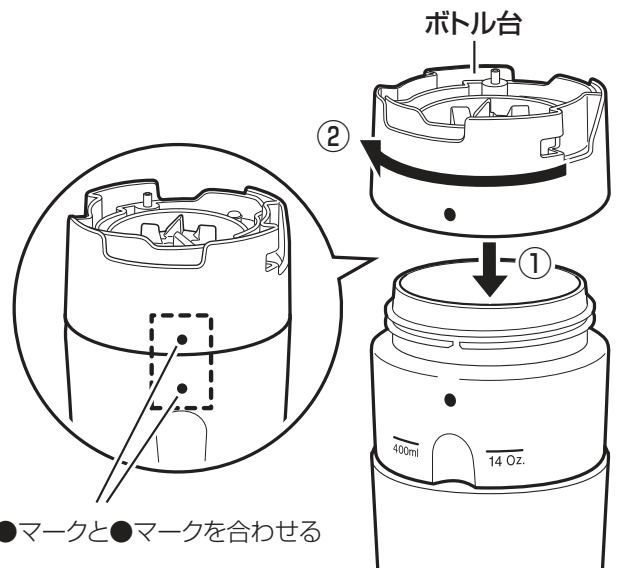
カッターは鋭利なため、直接手を触れない。  
けがの原因となります。

① ボトル台のカッターを下にしてボトルにはめます。

② ボトル台を回転が止まるまで回して、ボトル台の

●マークとボトルの●マークを合わせます。

- ゆるみがないように、しっかり締め付けてください。
- ご使用の前に締め付けが固く感じるときは、ボトル台のパッキンの表面を水で少しぬらしてから、再度締め付けてください。



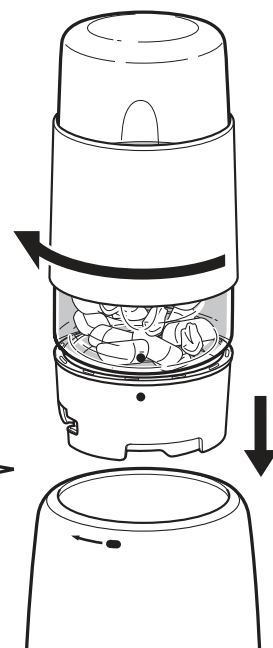
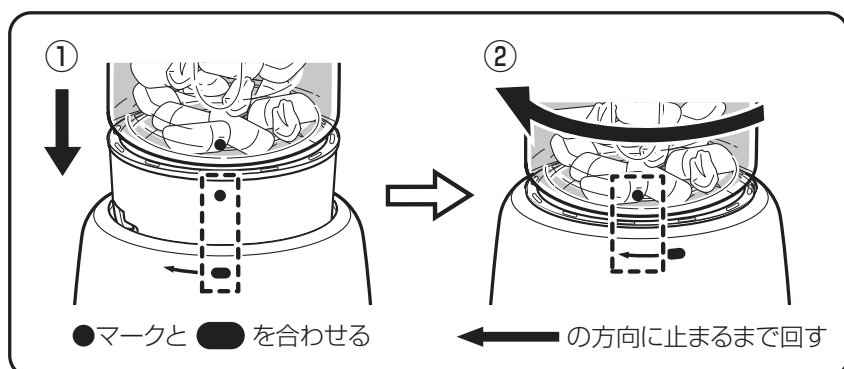
●マークと●マークを合わせる

### 3 ボトル付きボトル台を本体に取り付けます。

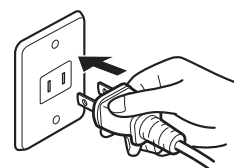
①ボトルを逆さに向け、ボトル台の●マークを本体の●に合わせて差し込みます。

②本体を支え、ボトルを本体の ← の方向に止まるまで回し、ロックします。

● 本体は水平で安定した場所に置いてください。

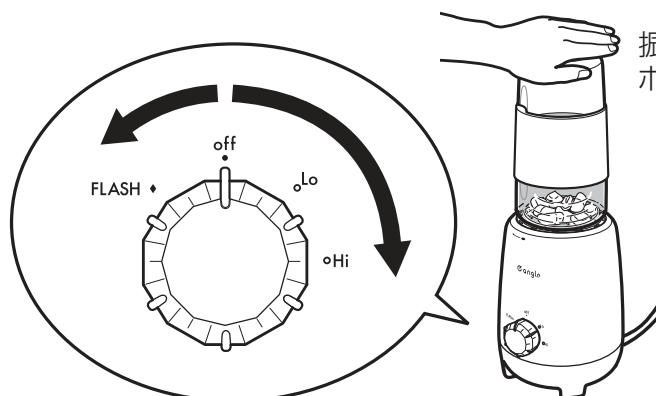


### 4 スイッチが「off」になっていることを確かめてから、電源プラグをコンセントに差し込みます。



### 5 スイッチを合わせます。

| スイッチ  | カッターの動作                       | 適した材料・用途                            |
|-------|-------------------------------|-------------------------------------|
| Hi    | 高速回転                          | 野菜、かたい果物 (りんご・かき・かんきつ類など) のかくはん     |
| Lo    | 低速回転                          | やわらかい果物 (バナナ・いちご・もも・缶詰の果物など) のかくはん  |
| off   | 停止                            | —                                   |
| FLASH | 合わせている間だけ回転 (指を離すと「off」に戻ります) | 調理物が分離したときに<br>かたい材料を少しずつかくはんしたいときに |



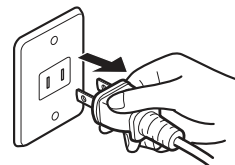
#### ⚠ 注意

連続運転は4分以内にする。  
4分運転するごとにスイッチを「off」にして2分休ませる。  
モーターが過熱し、故障の原因となります。

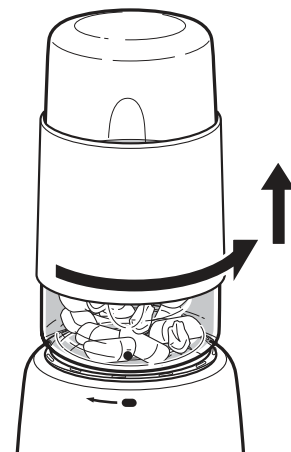
● カッターが回転しないときや回転が止まりそうなときは、スイッチを「off」にし、材料の量を減らしてください。

# 正しい使いかた

- 6 調理が終わったら、スイッチを「off」にし、電源プラグをコンセントから抜きます。

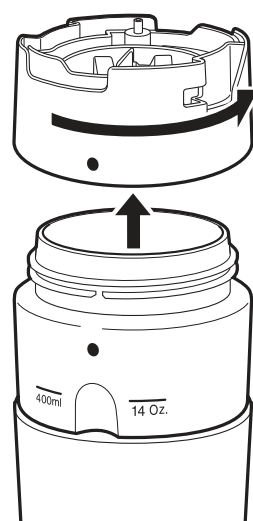
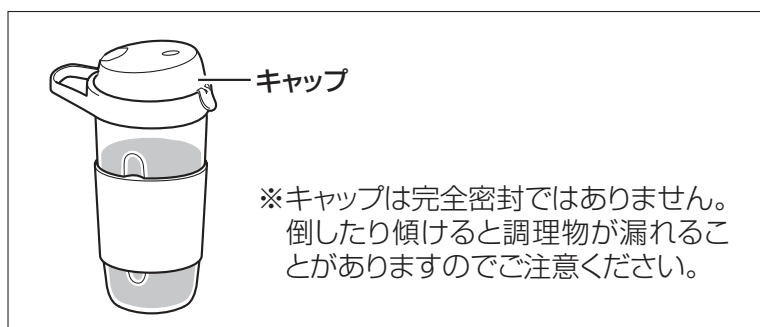


- 7 本体を支え、ボトル付きボトル台を回してロックを解除し、本体から取りはずします。



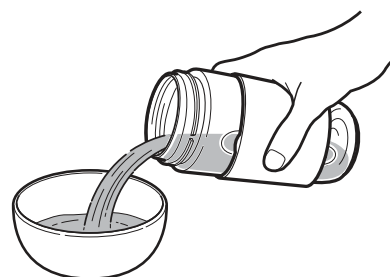
- 8 ボトルを逆さに向け、ボトル台を回してボトルから取りはずし、調理物を取り出します。  
またはボトル台をはずし、キャップを取り付けて保存することもできます。

- ボトル台を取りはずす際、調理物がこぼれないようご注意ください。



## ⚠ 注意

- ボトルに調理物を入れて長時間保存したり、長時間持ち歩かない。また冷蔵庫で保存しない。  
変形・変色の原因となります。
- レモンなどかんきつ類の材料を入れた調理物には、キャップを使用しない。  
変質・変色の原因となります。



使用後は 各部のお手入れをします。(P.12～P.14参照)

# レシピ

| バナナジュース  |  |
|--|--|
| 材料(1人分)  | 手順   |
| (1) 角氷.....3個(約2.5cm角)<br>(2) バナナ.....1本<br>(3) 牛乳.....150ml | 左記の順番でミキサーボトルに入れ、スイッチを「Hi」に合わせて約1分間かくはんする。 |

| キウイフルーツジュース  |  |
|--|--|
| 材料(1人分)  | 手順   |
| (1) 角氷.....3個(約2.5cm角)<br>(2) キウイ.....1/2個<br>(3) 牛乳.....150ml<br>(4) レモン汁.....適量<br>(5) はちみつ.....大さじ1 | 角氷、キウイ、牛乳、レモン汁の順番でミキサーボトルに入れ、スイッチを「Hi」に合わせて約1分間かくはんする。そのあとにはちみつを加え、スイッチを「Hi」に合わせて数秒かくはんする。 |

## お手入れのしかた

※必ずスイッチを「off」にし、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

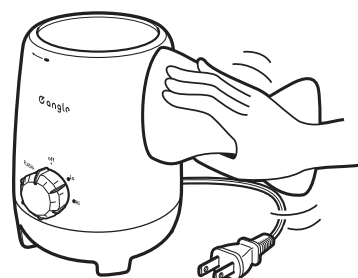
※ご使用のたびに、各部のお手入れをしてください。

### ⚠ 注意

- 熱湯で洗ったり、食器洗い機を使って洗わない。また、食器乾燥機、食器洗い乾燥機を使って乾燥させない。  
破損・変形の原因となります。
- 次のものを使用しない。  
・ベンジン、シンナー ・漂白剤、酸類 ・みがき粉、クレンザー ・たわし、金属たわし  
破損・変色の原因となります。

### 本体

やわらかい布で拭きます。  
汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤か水をふくませた布で拭き取った後、乾いた布でもう一度から拭きます。



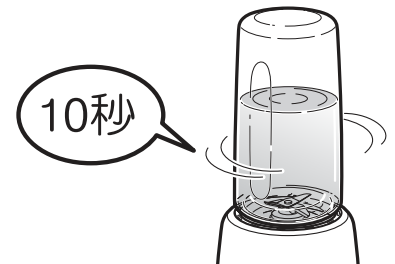
### ⚠ 警告

本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない。  
感電・ショート・故障の原因となります。

# お手入れのしかた

## ボトル

グリップをはずして（下項参照）台所用中性洗剤でよく洗い、水洗いをし、水気を取ります。  
汚れがひどいときは、水と洗剤を入れ、約10秒運転し、よく水洗いします。



## ボトル台・キャップ

パッキンをはずして（P.14参照）台所用中性洗剤でよく洗い、水洗いをした後、水気を取ります。  
ボトル台のカッターは、ブラシ、たわしなどで洗います。



### ⚠ 注意

カッターは鋭利なため、直接手を触れない。  
けがの原因となります。

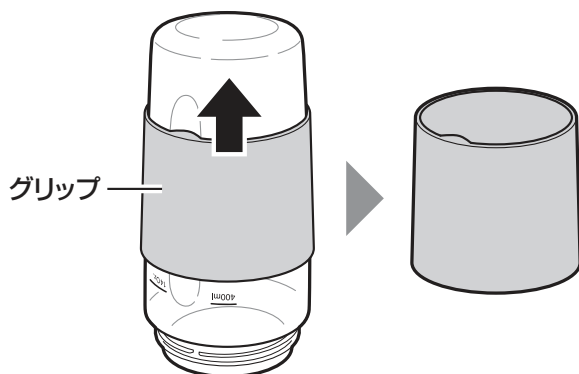
### 保管時の注意

ボトル台・キャップをボトルに取り付けて長期間保管するときは、固く締め付けないでください。  
取りはずしにくくなることがあります。

## グリップの取りはずしかた・取り付けかた

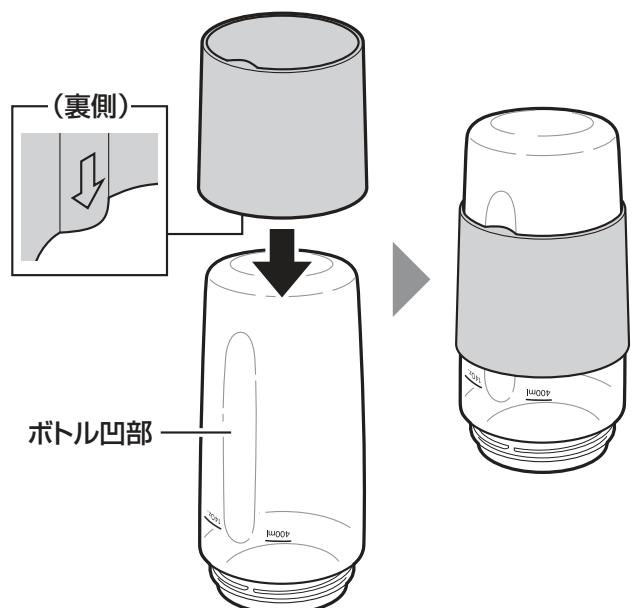
### 取りはずしかた

グリップを少しずつ上にずらしながら取りはずします。



### 取り付けかた

取り付ける際は、グリップ内側凸部にある矢印を下向きにして、ボトル凹部に合うように取り付けます。

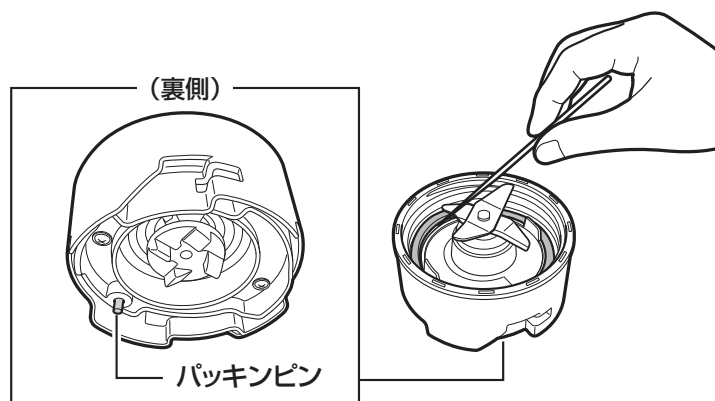


## パッキンの取りはずしかた・取り付けかた

### 取りはずしかた

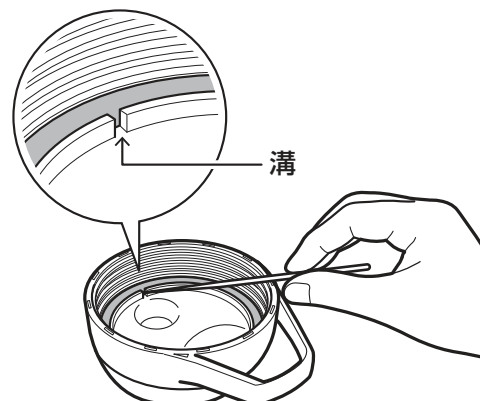
#### ボトル台

裏側のパッキンピンを押してパッキンを浮かせ、つまようじなどで引っ掛けてはずします。



#### キャップ

つまようじなどを溝に差し込み、引っ掛けてはずします。

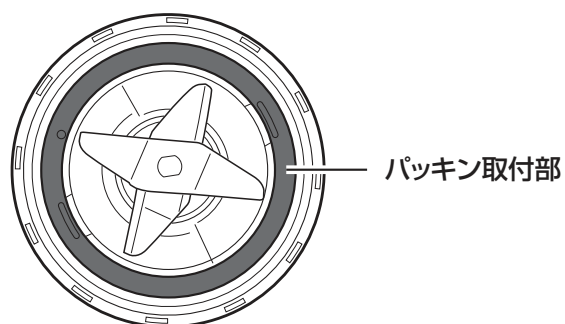


- 金串など金属製のものを使ってはささないでください。パッキンが破損する恐れがあります。

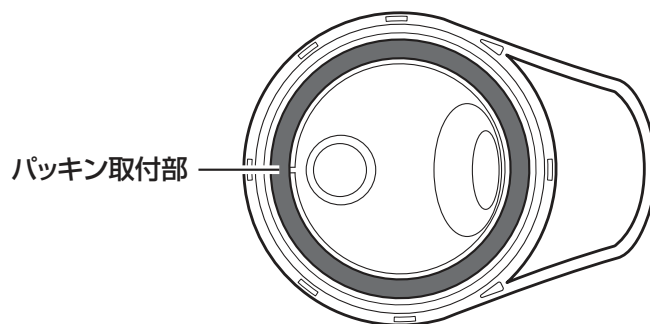
### 取り付けかた

パッキン取付部に確実にはめ込みます。

#### ボトル台



#### キャップ



#### ⚠ 警告

お手入れ後は、パッキンを確実に取り付ける。  
材料が漏れたり、パッキンがずれているとカッターがあたって切れ、調理物に混入する恐れがあります。

#### ⚠ 注意

カッターは鋭利なため、  
直接手を触れない。  
けがの原因となります。



# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。  
それでも異常のある場合は、商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

| このようなとき   | 点 検                               | 処置のしかた  |
|-----------|-----------------------------------|---|
| 途中で運転が止まる | ●カッターに材料が引っかかっていませんか？             | 電源プラグをコンセントから抜き、材料をすべて取り出して、正しい順番で入れなおしてください。(P. 9 参照)  |
|           | ●材料を定格容量以上入れたり、禁止材料を使っていますか？      | モーター保護装置がはたらいっていることが考えられます。<br>電源プラグをコンセントから抜き、材料を減らしたり、禁止材料を取り除いて、20 ～ 30 分休ませてからご使用ください。(P. 7 参照) |
| 運転しない     | ●ボトルとボトル台が確実に取り付けられていますか？         | 正しく取り付けてください。(P. 9 ～ P.10 参照)   |
|           | ●ボトル付きボトル台が本体に確実に取り付けられていますか？     | 正しく取り付けてください。(P. 9 ～ P.10 参照)   |
|           | ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？           | 電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。   |
|           | ●カッターに材料が引っかかっていませんか？             | 材料をすべて取り出して、入れなおしてください。材料を入れる順番を守ってください。(P. 9 参照)   |
|           | ●長時間連続運転している、または禁止材料をかくはんしていませんか？ | モーター保護装置が働いていることが考えられます。20 ～ 30 分休ませてからご使用ください。(P. 7 参照)  |
| 材料が漏れる    | ●パッキンが正しく取り付けられていますか？             | 正しく取り付けてください。(P.14 参照)  |
|           | ●ボトルにボトル台が正しく取り付けられていますか？         | 正しく取り付けてください。(P. 9 ～ P.10 参照)   |
|           | ●材料を定格容量以上入れていませんか？               | 定格容量 (400mℓ) 以内に材料を減らしてください。  |
| 空回りする     | ●液体の量が少なすぎませんか？                   | 液体を追加してください。  |
|           | ●材料が大きすぎませんか？                     | 2～3cm 角に小さく切って、入れなおしてください。  |
|           | ●カッターに材料が引っかかっていませんか？             | 電源プラグをコンセントから抜き、材料をすべて取り出して、正しい順番で入れなおしてください。(P. 9 参照)  |



# 仕様

|                 |   |
|-----------------|---|
| 電 源             | AC100V 50/60Hz                                  |
| 消 費 電 力         | 220W  |
| 定 格 時 間         | 4分間運転・2分間停止 繰り返し使用                              |
| 回 転 数 (無 負 荷 時) | Low : 19500rpm High : 23000rpm Flash : 23000rpm |
| 定 格 容 量         | 400mℓ(14 Oz.)                                   |
| 本 体 寸 法         | 約115(W)×135(D)×295(H)mm                         |
| 本 体 質 量         | 約960g   |
| 電 源 コードの長さ      | 約1.0m   |
| 付 属 品           | キャップ×1個   |

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

# 消耗部品・別売品

- 損傷した部品は、新しい部品と交換（有料）してください。
- お買い求めの際は、製品の型番及び部品名、部品番号をご確認のうえ、お買い上げの店舗にご相談ください。
- ボトル、グリップ、キャップはTL（ティール）、MW（モカホホワイト）、PB（ピンクベージュ）の3色ございますので、お買い求めの際は色名もお申し出ください。

| 部品名 | 部品番号        | 色名      |
|-----|-------------|---------|
| ボトル | JMT40-01-MW | モカホホワイト |
|     | JMT40-01-TL | ティール    |
|     | JMT40-01-PB | ピンクベージュ |

| 部品名  | 部品番号     | 色名   |
|------|----------|------|
| ボトル台 | JMT40-03 | 全色共通 |

| 部品名  | 部品番号        | 色名      |
|------|-------------|---------|
| グリップ | JMT40-02-MW | モカホホワイト |
|      | JMT40-02-TL | ティール    |
|      | JMT40-02-PB | ピンクベージュ |

| 部品名  | 部品番号        | 色名      |
|------|-------------|---------|
| キャップ | JMT40-04-MW | モカホホワイト |
|      | JMT40-04-TL | ティール    |
|      | JMT40-04-PB | ピンクベージュ |

# アフターサービスについて

## 修理を依頼されるときは

15 ページの「故障かな?と思ったら」をご確認いただき、修理または不明瞭な点があればお買い上げの店舗にお問い合わせください。

製品は持込修理商品となります。  
お買い上げの店舗まで製品と保証書・お買い上げレシートをお持ちください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

弊社は補修用性能部品を製造打ち切り後最低 6 年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

## 保証書

保証書は所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

### 《保証期間中》

保証書の内容に従って修理いたします。

### 《保証期間が過ぎている場合》

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 《その他ご不明な場合》

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの店舗または家電の 119 番にお問い合わせください。

## 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料：診断・故障個所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代：修理に使用した部品および補助材料代です。

## 愛情点検

## ★長年ご使用のタンブラーミキサーの点検を！



このような  
症状は  
ありませんか

- 電源プラグや電源コードが熱くなる。
- ボトルから水が漏れる。
- 本体にさわるとときどき電気を感じる。
- ときどき運転しないことがある。
- 運転中、異常な音がする。
- 本体が変形したり異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。

ご使用  
中 止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを「off」にし、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

## ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱い・修理に関してはお買い上げの販売店へご相談ください

※お買い上げの店舗にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は各窓口へお問い合わせください。

### お客様の個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。

ご質問の内容によりましては、適切な回答のためにエディオングループ、および関係会社に情報を提供する場合がございます。

その他、ご提供頂いたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

エディオングループ個人情報保護方針：<https://www.edion.co.jp/privacy>

## ご相談窓口 ～製品に関するお問い合わせ～

### ■エディオンお客さま相談センター



**0570-07-0557** (有料)

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～18:30（土日祝・年末年始除く）

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島二丁目3番33号 大阪三井物産ビル

- お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
- 所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2024.6時点）

## 修理窓口 ～修理に関するお問い合わせ～

### ■家電の119番



**0570-06-0119** (有料)

受付時間：月曜日～日曜日 9:00～19:00（年中無休）

※年末年始に関しては受付時間が変更になる場合がございます。

- お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
- 電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2024.6時点）